

研究室紹介

保健・医療・福祉政策システム領域

障害福祉研究室

教授 石田賢哉（連絡先:k_isida@auhw.ac.jp）

研究テーマ

「地域で生活する障害者の主観的QOLやリカバリーの向上を目指して」

「福祉サービスの効果検証」

（研究室の紹介）

当研究室では、量的調査、質的調査の分析法の習得をとおして、障害のある人が暮らしやすい社会づくりを明らかにするとともに、その実現のために必要な研究能力の習得を目指します。

また、福祉サービスの効果検証の方法について学習します。

主な研究テーマ

- 都市部と地方の精神障害者の主観的QOL、リカバリーの比較
- 日中活動系障害福祉サービスを利用する高齢精神障害者の現状と課題
- 成年後見制度に関する実態調査
- 障害者自立支援協議会の活動の意義
- 介護職員へのスーパービジョンの効果
- 相談支援専門員等の研修効果

主な担当講義科目

博士課程前期

- ・社会福祉学研究特論Ⅱ（制度・政策研究）
- ・社会福祉学特論Ⅴ（医療福祉・精神障害者福祉特論）

研究紹介

主に量的調査を通して、福祉サービス利用者の主観的QOL、リカバリー、サービス満足度を測定してきました。最近ではテキストマイニングをとおして自由記述の分析なども勉強しております。今まで、実態調査、ニーズ調査、満足度調査などをおこなってきました。サンプルから母集団を推定する調査などもおこなってまいりました。量的データから福祉サービス利用者の全体像を把握することと併せて、最近では、福祉サービス利用者や家族の語りに焦点を当て、当事者の方々の視点にアプローチする研究も取り組んでおります。

大学院進学を希望する方へひと言

ご自身の社会福祉実践を研究してみることはとても大切なことであると思います。様々な分析手法が開発されています。社会福祉実践の効果を検証し、社会福祉実践の意義を一緒に研究してみませんか。